

緒川小に学ぶこと — 組織論の見地から —

生涯学習研究所主宰
本連盟副会長
水 地 正 直

久しぶりに緒川小学校の研究発表を見せていただきました。およそ6、7年ぶりの訪問でした。公開授業を拝見してオープン教育がすっかりなじんでいるのに感心しました。お目当ては総合的学習です。それをさらに発展させた3年生の総合表現活動「レインボー・シアターで上演しよう」には脱帽しました。

以前見たときとかげ絵の道具立ては同じですが、台本作りからかげ絵の制作、操作、音響効果、劇の発表会とすばらしいプロジェクトになっているのです。かげ絵の制作をしている子、劇のけいこをしている子、音楽をやっている子など、それぞれ役割を分担して、目的に向かって進行しているではありませんか。まさに芸術的といえる授業です。

要項には「本主題は、知多地方教育計画案の次の内容をよりどころにして立案した」とあり、図工「もうひとりのわたし」（6時間）、国語「紙しばいを作ろう」（17時間）、音楽「リズムにのって」（1時間）が列挙してあります。子どもたちの態度は真剣そのものです。決してあわついたものではありません。レインボー・シアターに没入している間に、全体の構想を練り、会話の文章を学び、字をていねいに書き、劇や音楽で表現する学習をします。押しつけや詰め込みは一切なし。「静かにしてなさい」と言う必要もありません。それでいてシアターが完成した後に子どもたちが身につける大きな成果を想像できるのです。

研究紀要を読んでもっと驚きました。「緒川小カリキュラムⅡ」の編成に向けて、着々と作業が進んでいるのです。そしてカリキュラムⅡの主題は「主体的な自己の確立をめざす個性化教育カリキュラムの創造」と明確化されているのです。「主体的自己の確立」という哲学が打ち出されたのです。オープン教育15年の自信

と実践の裏付けがあって初めて出てきたものでしょう。緒川健在なり、という印象を深くしました。

緒川がここまで到達できた原因を知りたくなります。オープン教育を築き上げるには実にさまざまな困難、障害を乗り越えねばなりません。緒川はどうやってそれを成し遂げたのでしょうか。その秘密は、若い教師集団のロマン（夢と理想）実現に向かって議論を尽くす姿勢ではないかと思えます。

そう思ったのは成田幸夫著「学校を変える力」（ぎょうせい刊）を読み直して、それ以外には考えられなかったからです。学級王国に立てこもっていた教師が、子どもたちのために学校全体を有機的な学習の場に作り変えるには議論を尽くす以外に方法はないはずでした。

年齢や経験年数を越えて、正しい主張に対しては耳を傾け、話が決まればみんなが協力するという態度以外に学校をまとめる方法があるのでしょうか。真に民主的な話し合いが前提になってこそ教師集団がひとつになって偉大な力を発揮するのです。

最近、企業のリストラクチャー（再構築）から組織論が言われれています。一番こわいののは、みんなが責任逃れをすることです。波風を立てずに妥協してしまうことです。傷をなめ合う共同体になってしまうことです。

緒川の教師集団が現在どういうやり方をしているのかわかりませんが、しっかりと前進している姿を見ると、初期のロマンが受け継がれ、話し合いのルールが確立したのであろうと推測できます。ぜひその秘密を公開してほしいと思います。

新理事決まる

平成5年度からの理事を、下記の方々にお引き受けいただくことになりました。よろしくお願いたします。(平成5年3月 現在)

- 会長 柴田屋謙相 (東京・前板橋区教育長)
副会長 加藤幸次 (東京・上智大学教授)
理事 永地正直 (東京・生涯学習研究所主宰)
岩崎誠一 (教育環境計画研究所長)
大井秀夫 (北海道・明和小学校長)
工藤鉄雄 (北海道・月寒東小学校長)
佐藤有 (北海道教育大学文部教官)
坪谷京子 (北海道・)
小川清志 (北海道・啓西小学校長)
細谷克夫 (山形・戸沢小学校長)
五十嵐庸 (福島・大越小学校長)
齊藤健一 (福島・蓬萊東小学校長)
武藤義男 (福島・前三春町教育長)
野村裕子 (福島・高瀬小学校長)
○江連宮男 (埼玉・本庄市教育委指主)
○山崎和雄 (埼玉・八幡小学校長)
○徳永隆彦 (千葉・PTA連絡協事務局長)
○坂地造夫 (千葉・成原市立五小学校教育)
○石坂和夫 (国立教育研究所室長)
○上山英昭 (東京・前志村第二小学校長)
○木戸芳清 (日本視聴覚教材センター)
○行徳高德 (目黒区教育研究所研究員)
○楠元尾 (東京・前浅草小学校長)
○久保田滋 (東京・早稲田大学教育学部)
○清水正三郎 (東京・大東文化大学教授)
○志茂暁子 (東京・菅刈小学校教頭)
○高浦勝毅 (国立教育研究所室長)
○筒井安雄 (東京・)
○永井タケ子 (東京・大蔵小学校教頭)
○平野朝久 (東京学芸大学助教授)
○松野康子 (東京・上野小学校長)
○矢沢公雄 (東京・東山小学校長)
○岡本昭男 (神奈川・大磯小学校長)
○高橋稔 (神奈川・下曾我小学校長)
神代群一 (静岡県教育委指主)
青木昭平 (新潟・黒崎市教育委員会)
上原毅 (富山・入善小学校長)
上島賢一 (富山・野中中学校長)
○浅沼茂 (愛知・名古屋大学助教授)
糸柳弘 (愛知・二川南小学校長)
松下晴彦 (愛知・稲山女学園大助教授)
鈴木正幸 (神戸大学教授)
蓬郷和男 (岡山・遷喬小学校長)
長田勝男 (沖縄・前大道小学校長)
渡久地政吉 (沖縄・那覇市教育研究所長)

……東海個性化教育研究会……

- 理事 ○新美一成 (会長 東浦町教育長)
〇村田武雄 (副会長 島田市教育長)
〇吉村 豊 (〃 池田小学校長)
〇佐野文治 (〃 弥富北中学校長)
青木克夫 (愛知・稲武町教育長)
金田喜兵衛 (愛知・稲武小学校長)
田口芳宏 (岐阜・東白川村教育長)
蔵角秀吾 (岐阜・大垣北中学校長)
古木米治 (静岡・六合中学校長)
森 幸彦 (三重・第一小学校長)
蔭谷 信 (愛知・片函小学校長)
安藤 慧 (愛知・卯ノ里小学校長)
榊原七太 (愛知・石浜西小学校長)
魚住忠久 (愛知教育大学教授)
竹内通夫 (金城学院大学教授)
野村鉦吉 (岡崎市南部市民センター館長)
岩間隆毅 (岐阜・揖斐小学校長)
鈴木 茂 (静岡・初倉南小学校長)
増田智治 (静岡・初倉小学校長)
横山謙二 (監査 森岡小学校)
成田幸夫 (監査 青山中学校)
坂 恒雄 (事務局長 上野中学校長)

……九州個性化教育研究会……

- 理事 ○前崎敏雄 (会長 第一経済大助教授)
〇荒木 隆 (副会長 北九州教育事務所)
〇宮里朝景 (〃 沖縄・具志川市教委)
〇加藤幸次 (顧問 東京・上智大教授)
〇三原英雄 (〃 福岡・春日市教育長)
村田喜一郎 (福岡・北九州教育委員会)
野口良治 (佐賀・山内西小学校)
梶原春二 (大分・)
横大路達也 (福岡・須恵第一小学校長)
中島増夫 (鹿児島・前加世田小学校長)
上原正則 (沖縄・具志川市立田場小)
松尾法夫 (福岡・宗像市東郷小学校長)
田中 普 (福岡・志摩中学校)
柏木順子 (福岡・真崎小学校)
池田 清 (福岡・千鳥小学校)
竹浦ミトカ (福岡・久山町立幼稚園長)
木下啓作 (福岡・北野小学校)
池田信一 (福岡・志免西小学校)
白水 明 (福岡・志免南小学校)

……関西個性化教育研究会……

- 理事 ○中井良則 (会長 合橋小学校長)
〇鈴木正幸 (副会長 神戸大学教授)
〇蓬郷和男 (〃 遷喬小学校長)
〇加藤幸次 (顧問 東京・上智大教授)
須田 勇 (〃 神戸大学名誉教授)

- 理事 坂本邦夫 (顧問 神戸学院女短教授)
 // 辰巳昌男 (兵庫・甲東小学校教頭)
 // 原浩一郎 (宝塚市立教育研究所主幹)
 // 本岡志東 (兵庫・多井畑小学校教頭)
 // 堀真一郎 (大阪・大阪市立大学教授)
 // 相良教子 (京都・聖母女学院短大教授)
 // 末方鑑郎 (兵庫・尼崎教育総合センター)
 // 塩川剛三 (兵庫・但東町教育長)
 // 今谷順重 (兵庫・神戸大学助教授)
 // 大矢 晟 (兵庫・榎野台小学校校長)
 // 中井良宏 (三重・松阪大学教授)
 // 戸江茂博 (兵庫・頌栄短大助教授)
 // D.Willis (兵庫・相愛大学教授)
 // 石田 光 (大阪幼少年教育研究所長)
 // 黒瀬杏三 (兵庫・稗田小学校長)
 // 上村元正 (")

(○印は常任理事)

※理事の方々の記載事項に誤りがありましたら事務局までお知らせください。

平成4年度 全国個性化教育研究連盟
 会計報告 1993.3.31

○収入の部

種別	予算	決算	備考
個人会費	700000	970000	3000円
団体会費	200000	250000	5000円
東海研究	90000	72000	1500円
事業収益	300000	316520	会誌売上
繰越金	58955	58955	
預金利子	5000	2100	
その他	20000	7500	研参加費
合計	1451955	1677075	

○支出の部

款	項目	予算	決算	備考
事業費	研究研修	70000	98567	
	広報活動	700000	838000	
	研究発表	50000	50000	
	支部活動	20000	43320	九州
	会議費	50000	50000	
事務費	事務費	85000	78000	
	連絡通信	350000	382855	
	消耗品費	60000	34777	
	諸費	20000	0	

予備費	46955	0
合計	1451955	1575519

○差引残高 ----- 101556

・上記の通り決算報告いたします。

平成5年3月31日

会長 染田屋謙相

事務局長 高浦 勝義

会計部長 中澤 米子

・監査の結果、相違ないことを認めます。

平成5年3月31日

会計監査 行徳 高德

石坂 和夫

印章省略

平成5年度 全国個性化教育研究連盟

会計予算案 1993.3.31

○収入の部

種別	予算	決算	備考
個人会費	900000		3000円
団体会費	250000		5000円
東海研究	80000		1500円
事業収益	300000		会誌印税
繰越金	101556		
預金利子	2000		
その他	10000		
合計	1643556		

○支出の部

款	項目	予算	決算	備考
事業費	研究研修	70000		
	広報活動	700000		
	研究発表	50000		
	支部活動	60000		
	会議費	80000		
事務費	事務費	105000		
	連絡通信	400000		
	消耗品費	40000		
	諸費	20000		
予備費	118556			
合計	1643556			

平成5年度 活動計画

会誌「個性を育てる」第7号の発行

6月の発行をめざして、最後の準備を進めています。今回の特集は「総合的学習をつくる」です。新学習指導要領がスタートし、小学校では生活科、中学校では選択教科の拡大が始まり1年が経過しました。そんななかで、全国各地から意欲的な実践を報告します。

研究会

☆第1回 6月13日(日) 於 上智大学
TT(ティーム・ティーチング)研究会
平成5年度から文部省でもTTのための加配を行うようになりました。こんな時期にタイムリーな企画を計画しました。くわしくは、申込書をごらんください。
☆第2回 10月頃、研究会を計画中です。
くわしくは、のちほどお知らせします。

第9回夏季研修会

7月27日(火)～28日(水)
於 ソウル市・泳薫国民学校
今年度は9回目を迎え、海外に会場を移し韓国で行います。7/30日、7/31日も計画していますので、ふるって参加してください。くわしくは申込書をごらんください。なお、バスチケットの準備もお忘れなく。

会報の発行

本年度は、この25号から、8月の26号、11月の27号、1月の28号を計画しています。情報満載の紙面にご期待ください。

お原稿い、会費の納入について

過去2年間会費の納入されなかった方を会員名簿から削除させて頂きました。昨年度会費納入されていない方に最後の納入ご案内の通知をお送りしました。お早めに送金をお願いします。

〈事務局への問い合わせ・連絡先〉
〒114 東京都北区赤羽南1-16-2-504
03-3903-4780 庶務部長 佐久間茂和

〈 事務局組織分担 〉

事務局 局長 高浦勝義	庶務部	○佐久間茂和 (東京) 加藤幸次 (東京) (東海・九州・関西連絡担当) 成田幸夫 (愛知) (東海個性化研究会) 池田信一 (福岡) (九州個性化研究会) 谷口育史 (関西個性化研究会)
	広報部	○館岡茂樹 (神奈川) 小久保晶良 (埼玉) 荻久保公秋 (埼玉) 加藤 勇 (埼玉) 岩田泰治 (埼玉) 太田 始 (東京) 中田泰夫 (埼玉)
	会計部	○中沢米子 (東京) 橋本享子 (東京)
	研究部	○浅沼 茂 (愛知) 奈須正裕 (神奈川) 中山正則 (埼玉) 三浦信宏 (千葉) 安達 幸 (千葉) 笹原 悟 (千葉) 多田信夫 (埼玉) 河野康雄 (〃)
	研修部	○河合剛英 (神奈川) 池田伊三郎 (神奈川) 並木康成 (神奈川) 等々力美津子 (東京) 原崎佑子 (東京)
	編集部	○松田早苗 (千葉) 川島良代 (東京) 堀竹蝶子 (東京) 加藤久美子 (千葉)
	(○印は各部の部長)	

全国個性化教育研究連盟会報 第25号
平成5年5月8日発行
編集責任者 事務局長 高浦勝義
編集 広報部 館岡茂樹